

# 美浜町上水道ビジョン概要版

～未来に紡ぐ「<sup>うま</sup>美し水」を守り続けるために！～

令和8年度～令和17年度

1. 美浜町上水道ビジョンの策定趣旨	1
2. 美浜町上水道ビジョンの位置付け	2
3. 水需要の見通し	3
4. 事業経営状況	4
5. 美浜町上水道ビジョンの体系図（水道事業の課題、基本理念、施策目標、具体的施策）	5
6. 目標1【安全】「いつでも安全でおいしい水」の具体的施策の一例	6
7. 目標2【強靱】「強靱な水道」の具体的施策の一例	7～9
8. 目標3【持続】「水道サービスの持続」の具体的施策の一例	10～11
9. 具体的施策スケジュール	12
10. フォローアップ	13

美浜町

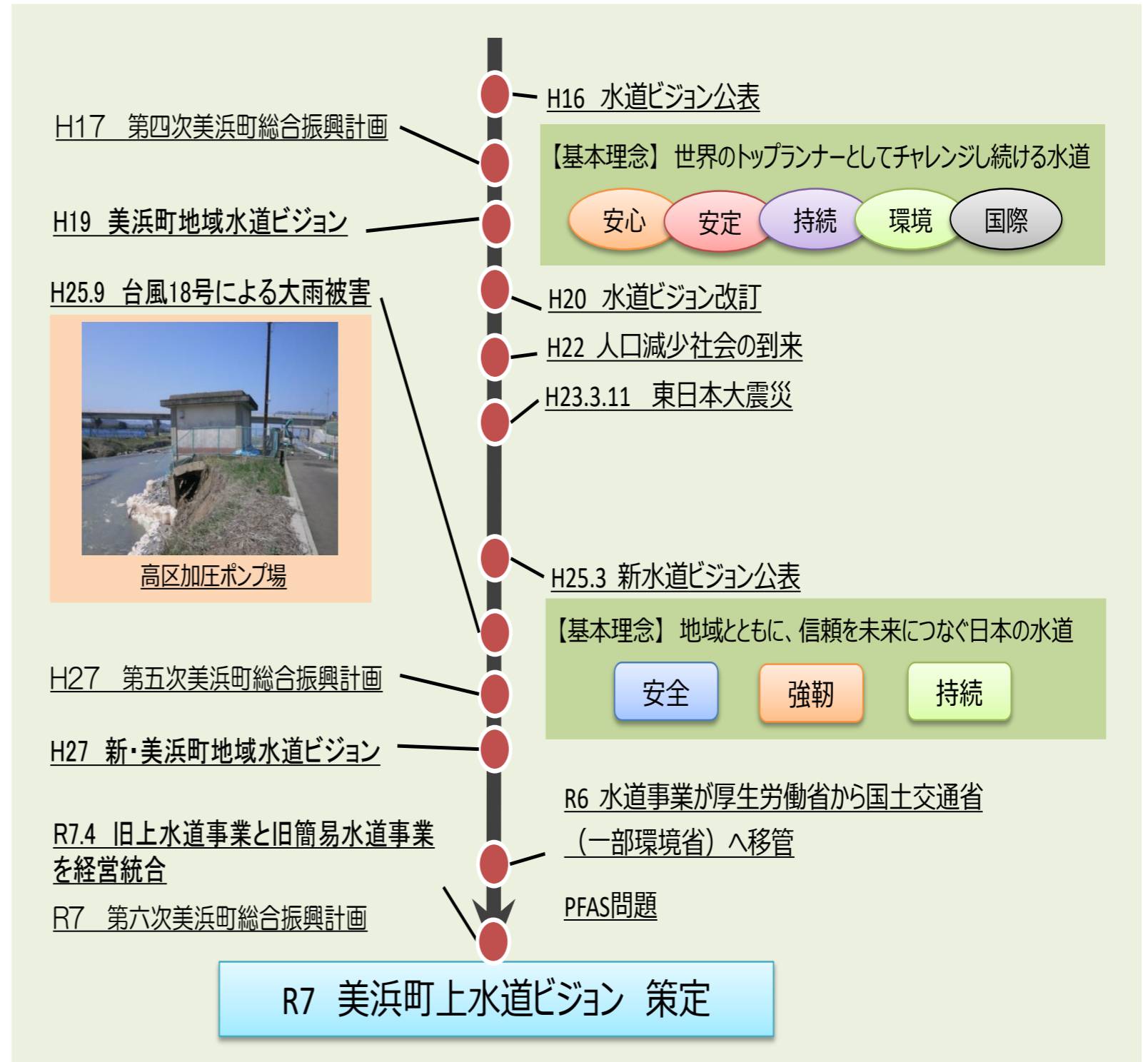


# 1. 美浜町上水道ビジョンの策定趣旨

町では、平成 19 年度に美浜町地域水道ビジョンを策定し、その後の東日本大震災の発生、人口減少社会の到来など大きな社会情勢の変化を受け、平成 27 年度に「新・美浜町水道ビジョン」を策定しました。

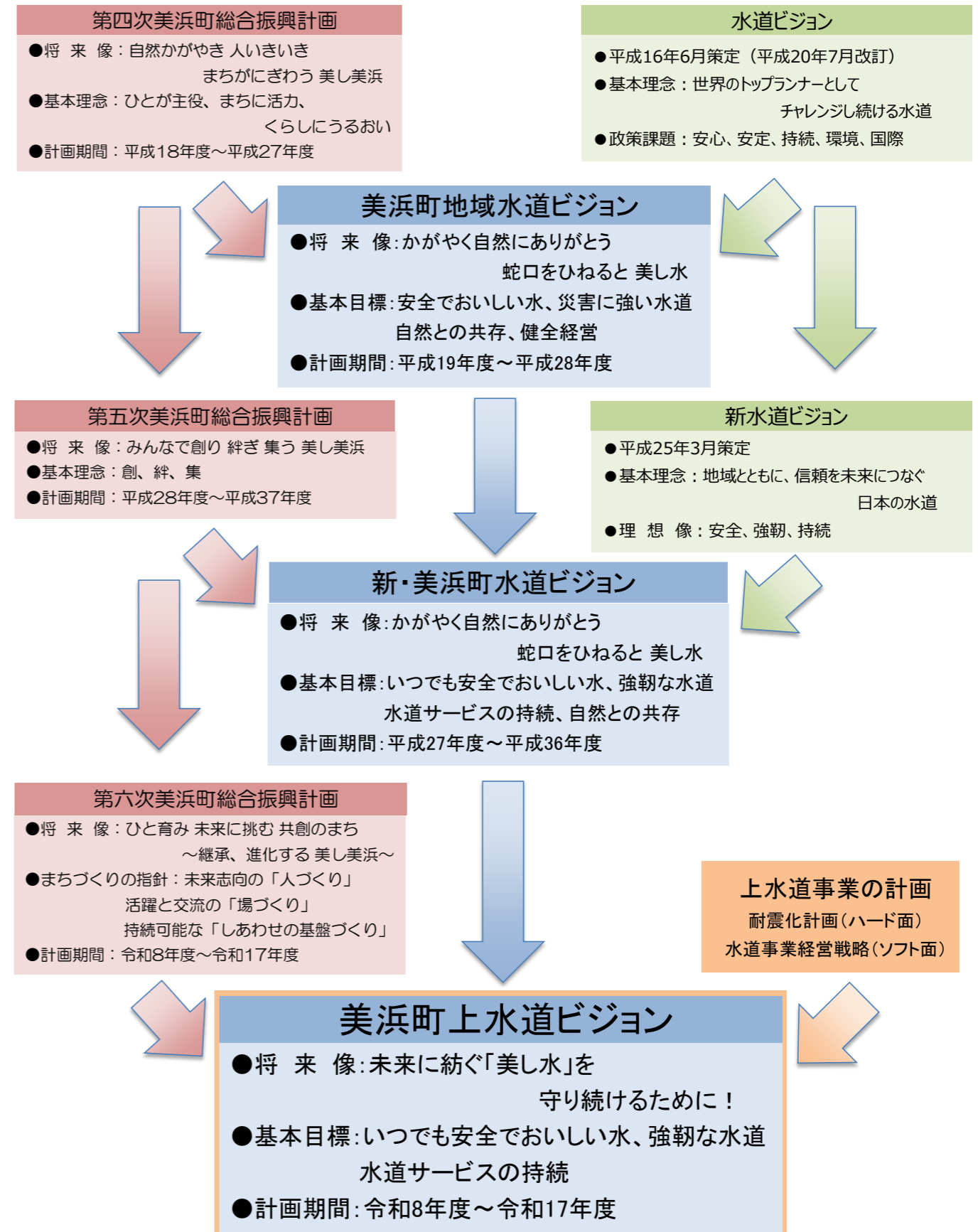
この間の水道法の改正（水質基準の改定、第三者業務委託）、公営企業法の改正、平成 25 年 3 月に厚生労働省が公表した「安全」、「強靱」、「持続」を水道の理想像とする「新水道ビジョン」を踏まえ、『かがやく自然にありがとう 蛇口をひねるとうま 美し水』を将来像として掲げ、「いつでも安全でおいしい水」、「強靱な水道」、「水道サービスの持続」、「自然との共存」を実現すべく、10 年間取り組んできました。

計画期間の終了に加えて、今後さらに人口や給水量が減少し、料金収入が減少する一方、施設の老朽化が進み、修繕・更新費用が増加すると見込まれており、所管省庁が厚生労働省から国土交通省（一部環境省）へ移管する等の事業環境、社会情勢等の変化を受けて、新たな 10 年間の水道事業の具体的な施策を盛り込んだ「美浜町上水道ビジョン」を策定することとしました。



## 2. 美浜町上水道ビジョンの位置付け

美浜町上水道ビジョンの策定に当たっては、国が公表する「新水道ビジョン」および町が策定した「美浜町総合振興計画」、「美浜創生総合戦略」、「美浜町人口ビジョン」を上位計画とし、これらとの整合性を図るとともに、町が策定した「耐震化計画」や「水道事業経営戦略」の内容を取り込むことを基本とします。



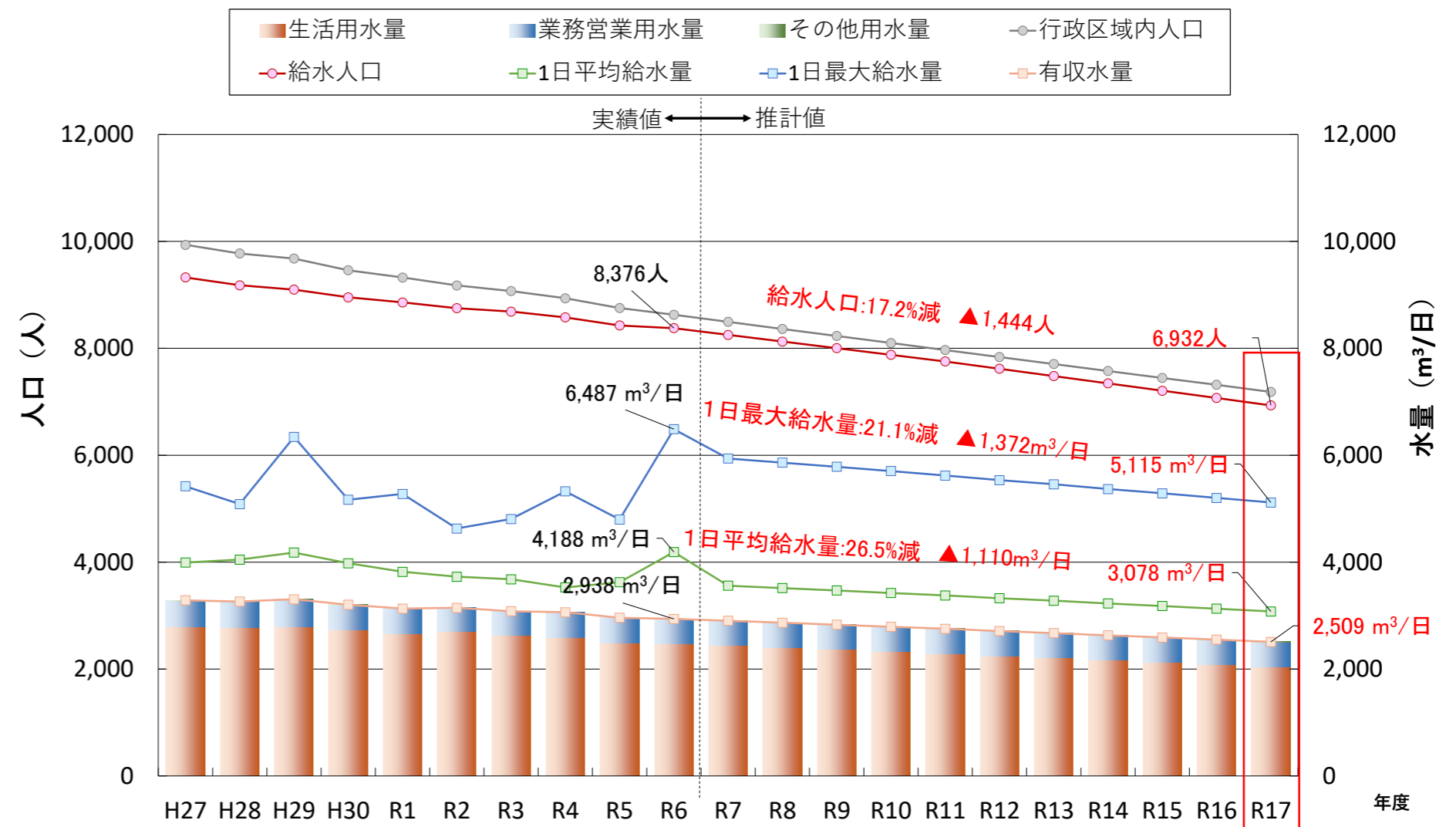
### 3. 水需要の見通し

#### (1) 人口推計

- 前回ビジョンでは、計画目標年次である令和6年度に行政区域内人口を9,409人、給水人口を8,880人と設定しましたが、令和6年度末の実績値と比較して、行政区域内人口で約800人、給水人口で約500人の差が出てきており、人口減少は予測を上回るスピードであることがわかります。
- 今回は、「第六次美浜町総合振興計画」策定時に予測した集落別人口推計結果等を踏まえ、将来給水人口を令和17年度6,932人と設定します。

#### (2) 水需要予測

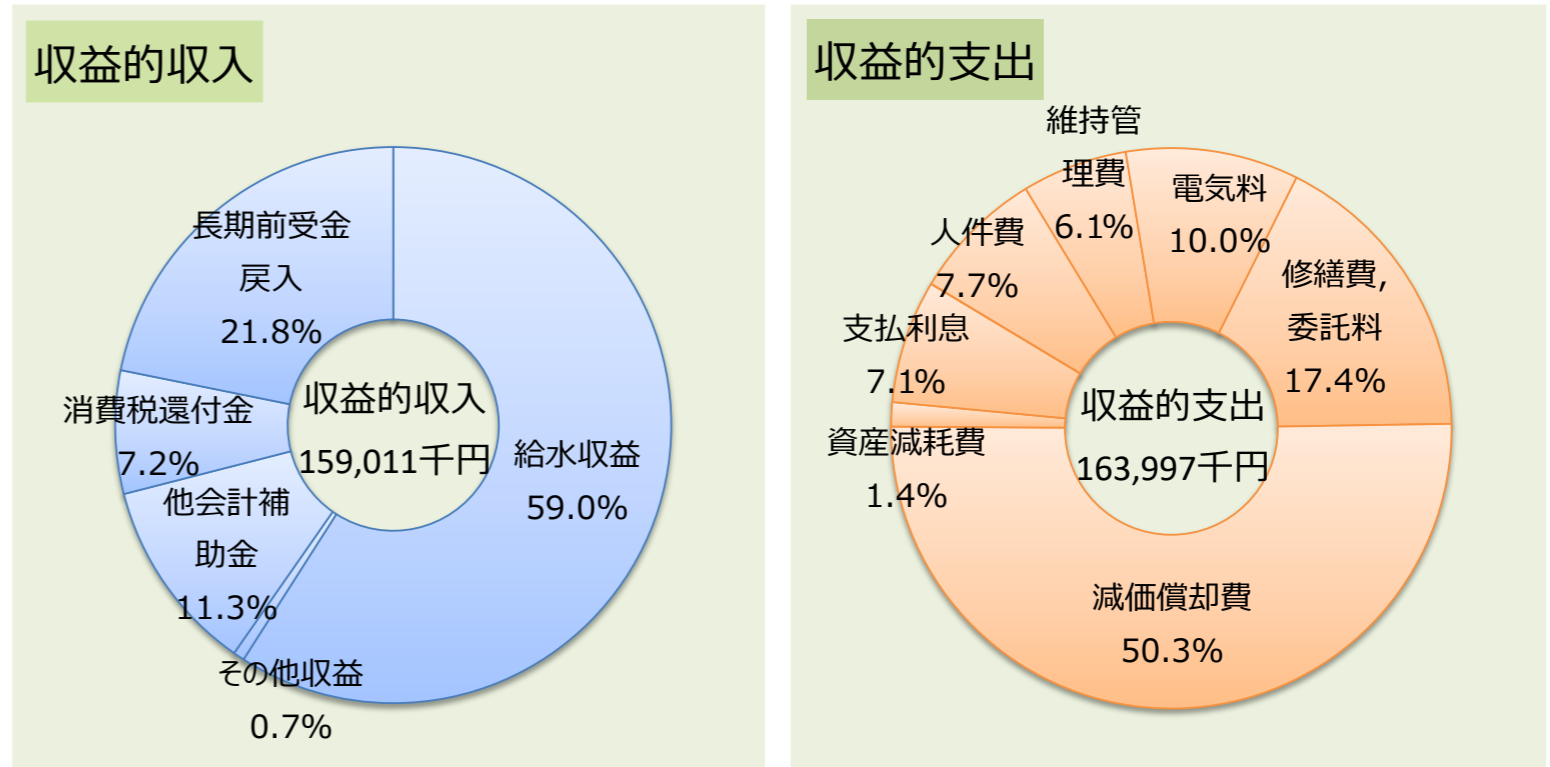
- 需要水量の実績値は、いずれも減少傾向にあります。1日最大給水量および1日平均給水量についてバラツキは見られますが、1日有収水量に関しては人口減少と似通った減少傾向を示しています。
- 水需要予測は、旧水道事業ごとの用途別使用水量実績値および人口予測値を踏まえ、時系列分析を行い推計しました。
- 有収率および有効率は現状を維持することとし、計画給水量を設定しました。



## 4. 事業経営状況

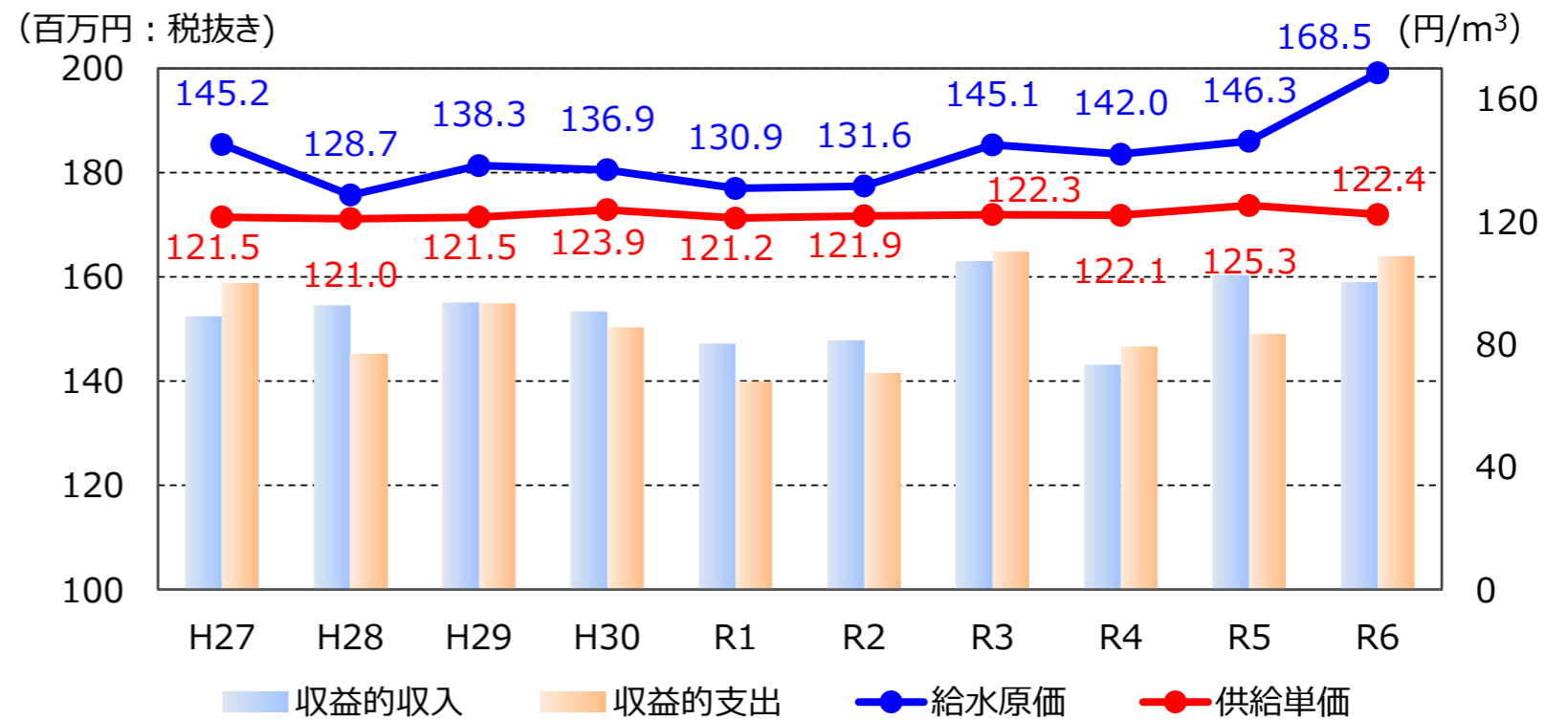
### (1) 令和6年度決算（旧上水道）

- 令和6年度末の事業決算は、収入 159,011 千円に対し、支出が 163,997 千円となり、4,986 千円の赤字決算となりました。
- 要因は、主に給水収益の減少と配水及び給水費の修繕費の増加によるものです。



### (2) 収益的収支の推移（旧上水道）

- 10ヶ年の収益的収支の推移から、平成27年度、令和3年度、令和4年度、令和6年度の4年間で赤字経営となっています。
- すべての年度で給水原価が供給単価を上回っており、水道料金で水道事業が賄えていない状況が続いています。

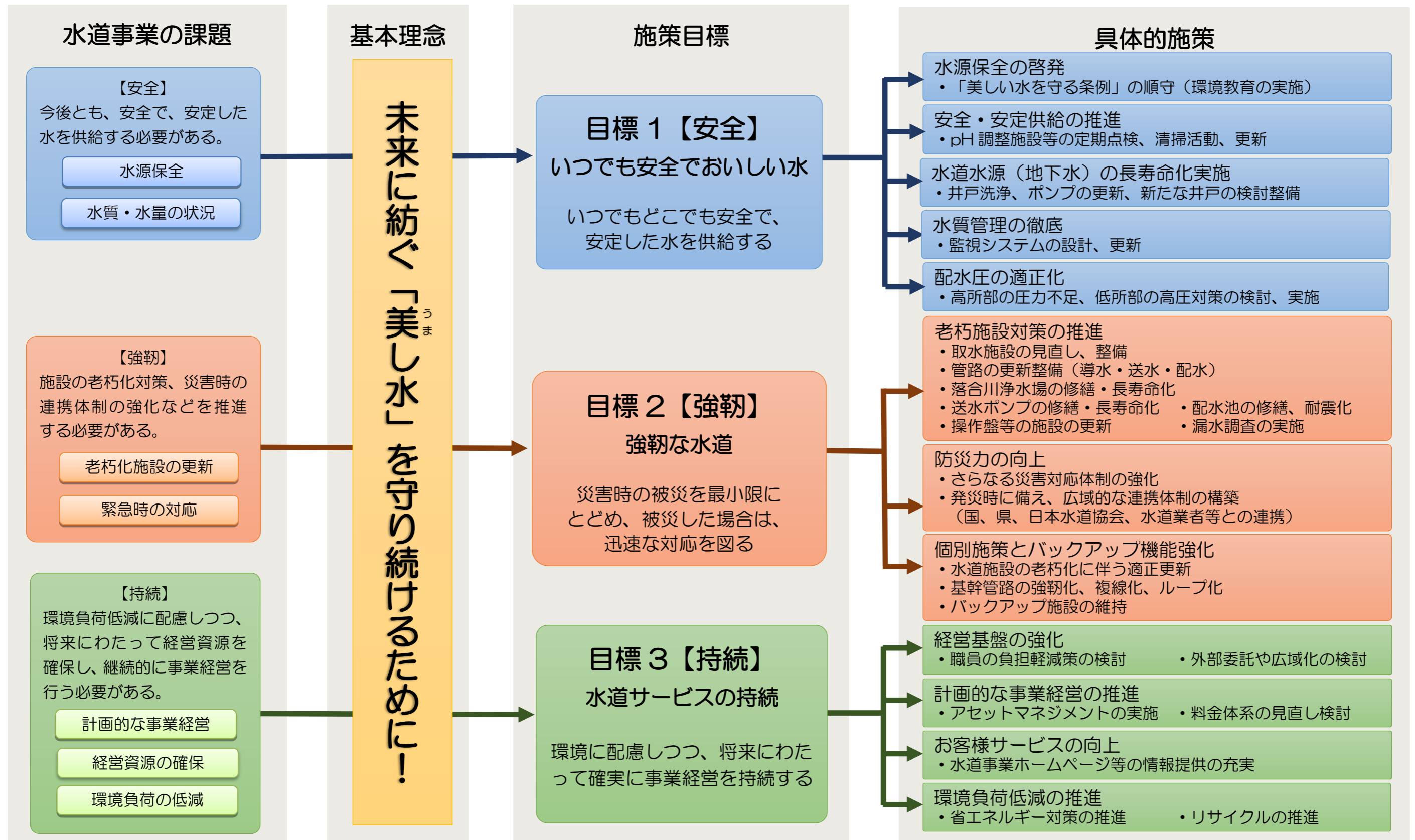


※給水原価：有収水量 1m<sup>3</sup>あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標  

$$[ \text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費} + \text{長期前受金戻入}) ] / \text{年間有収水量}$$

供給単価：有収水量 1m<sup>3</sup>あたりについて、どれだけの収益を得ているかを表す指標

## 5. 美浜町上水道ビジョンの体系図（水道事業の課題、基本理念、施策目標、具体的施策）



## 6.目標1【安全】「いつでも安全でおいしい水」の具体的施策の一例

### (1) 水源保全の啓発

- 「美しい水を守る条例」を順守し、耳川、落合川及び地下水の基盤となっている美浜町の自然を大切に守り育てる機運を醸成するため、例年、町内小学生の総合学習・探求学習の一環で実施している水道管理所の見学会等の環境教育の取り組みを継続・拡充して実施し、町内外に広くPRします。



環境教育（小学生施設見学）

成果指標項目	現況値（R6）	目標値（R17）
施設見学等受入数	3団体	5団体

### (2) 水道水源（地下水）の長寿命化実施

- 水道水源（地下水）については、計画的に取水設備の洗浄、ポンプ更新等を引き続き実施します。
- 十分な取水量が回復しない井戸については、新しい井戸を掘削するための調査検討を行います。

### (3) 水質管理の徹底

- 水質管理の徹底を図るため、老朽化が進行している監視システムの更新を行います。
- クリプトスポリジウム\*や近年問題となっている PFAS\*等についても現時点では検出されていないものの、毎年定期的に水質検査を実施し、監視しながら必要に応じて対策を講じていきます。

成果指標項目	現況値（R6）	目標値（R17）
水質基準不適合率	0%	0%

\* クリプトスポリジウム：人や動物の腸に感染して下痢などを引き起こす病原体の一種です。

\* PFAS：炭素とフッ素からなる有機化学物質の総称で、人体に影響を及ぼす可能性が懸念されています。

## 7.目標2【強靱】「強靱な水道」の具体的施策の一例

### (1) 老朽施設対策の推進

#### ① 取水施設の見直し、整備

- 耳川に架かる老朽化した水管橋については、更新には多額の費用が必要となります。
- 新たな井戸掘削の可能性等を検討し、既存井戸を含めた取水能力の状況を鑑みながら、災害に強い取水施設の再構築を検討し、適切な更新を行います。

#### ② 管路の更新整備（導水・送水・配水）

- 耐用年数を超過している導水管、送水管、配水管の非耐震管については、基幹管路を中心に計画的な布設替工事を実施します。

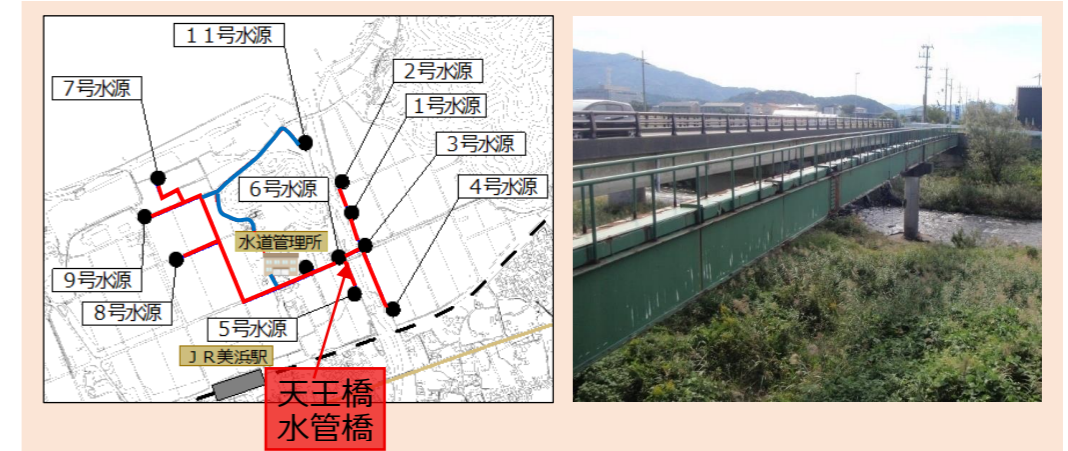
成果指標項目	現況値（R6）	目標値（R17）
基幹管路の耐震化率	57.1%	63.0%

#### ③ 落合川浄水場の修繕・長寿命化

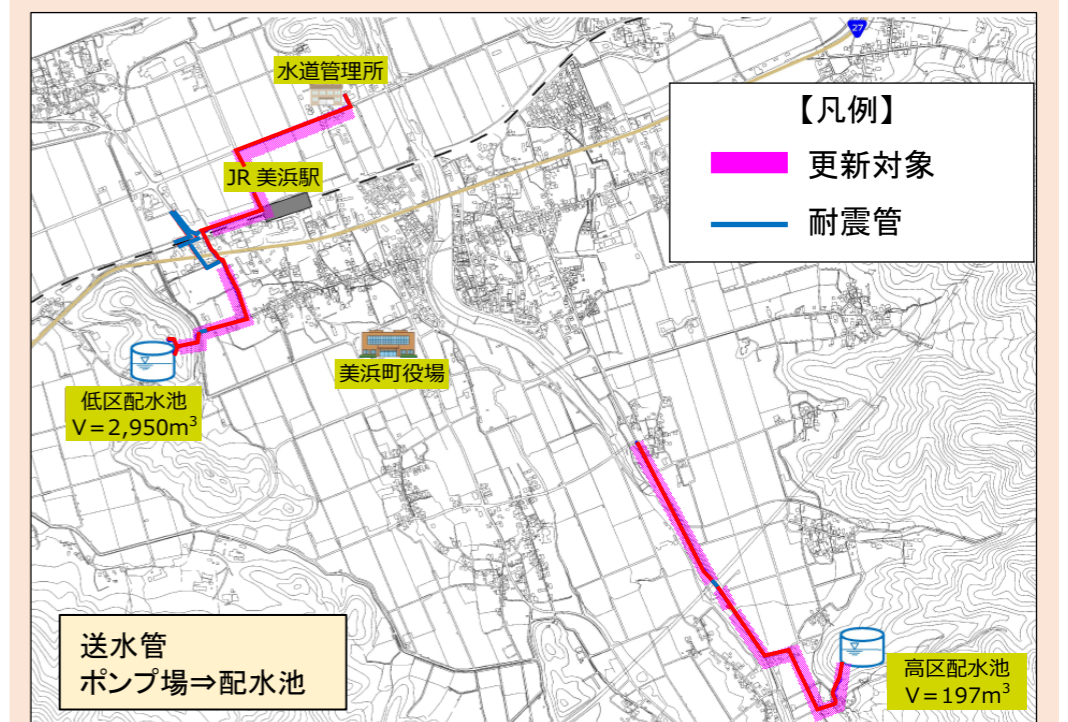
- 落合川浄水場の機器については、計画的な点検、修繕などにより、長寿命化を図ることによって、更新費用の平準化を図りつつ、適切な更新を行います。



落合川浄水場膜ろ過装置



耳川に架かる水管橋（天王橋水管橋）



管路の更新整備

## 7.目標 2【強靱】「強靱な水道」の具体的施策の一例

### ④ 配水池の修繕、耐震化

- 配水池については、定期的な清掃や再塗装を実施するとともに、緊急遮断弁のメンテナンスを実施し、災害時に備えます。
- 旧簡水及び旧飲供施設の配水池については、施設の更新も含めた耐震化工事を計画的に実施することとし、実施にあたっては、水需要予測に基づく容量の見直し及び配水池の統廃合について検討し、重要度、老朽度及びコスト比較等から整備の優先順位を設定した上で行います。

### ⑤ 操作盤等の施設の更新

- 取水・浄水施設における耐用年数を超過した操作盤等の施設については、計画的に更新を行います。

### ⑥ 漏水調査の実施

- 漏水が頻発している配水管については、定期的に夜間の漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見に努めます。
- 他事業者での検討結果等を踏まえて、効果が高い技術を活用し、人工衛星や AI 等を用いた最新の漏水調査を実施します。

成果指標項目	現況値 (R 6)	目標値 (R 17)
漏水調査の実施	1回	3回
有収率	68.23%	80.00%

※R5 全国類似団体平均 75.5%



耐震化が必要な竹波配水池



漏水調査

## 7.目標 2【強靱】 「強靱な水道」の具体的施策の一例

### (2) 防災力の向上

#### ① さらなる災害対応体制の強化

- 上位計画である「美浜町地域防災計画」に基づき、美浜町役場内での初動体制（役割分担）を確認し、災害時には初動対応、応急給水を実施します。
- 近年発生する甚大な自然災害は、想定を上回る被害をもたらしており、私たちが実施している物理的な災害への備えは、どこまでいっても充分であると断定できるものではありません。
- 災害時の訓練を十分に実施し、さらなる災害発生時の体制強化を図ります。

#### ② 発災時に備え、広域的な連携体制の構築

- 発災時に備えて、国、県等との連携、日本水道協会との連携、水道業者等との連携といった体制構築に努めます。
- 国、県、関係団体と災害支援体制および情報伝達体制を随時確認するとともに、水道関連メーカー、美浜町管工事組合等との連携強化を図ります。



令和6年度に購入した給水車

成果指標項目	現況値（R6）	目標値（R17）
日本水道協会等研修会への参加	1回	3回

### (3) 個別対策とバックアップ機能強化

#### ① 基幹管路の強靱化、複線化、ループ化

- 基幹管路については、計画的な更新により耐震化率を高めることに加えて、管路網のネットワーク特性、病院や避難所等の重要施設への優先度等を踏まえて、複線化やループ化を図ることで、管路網全体の強靱化に努めます。

#### ② バックアップ施設の維持

- 令和8年4月から菅浜地区は、旧上水道区域から給水されますが、災害や事故等による送水管等の被災等、送水できない事態に備えて、井戸等の既設の水源は予備水源として維持、管理していきます。

## 8. 目標3【持続】「水道サービスの持続」の具体的施策の一例

### (1) 経営基盤の強化

#### ① 外部委託や広域化の検討

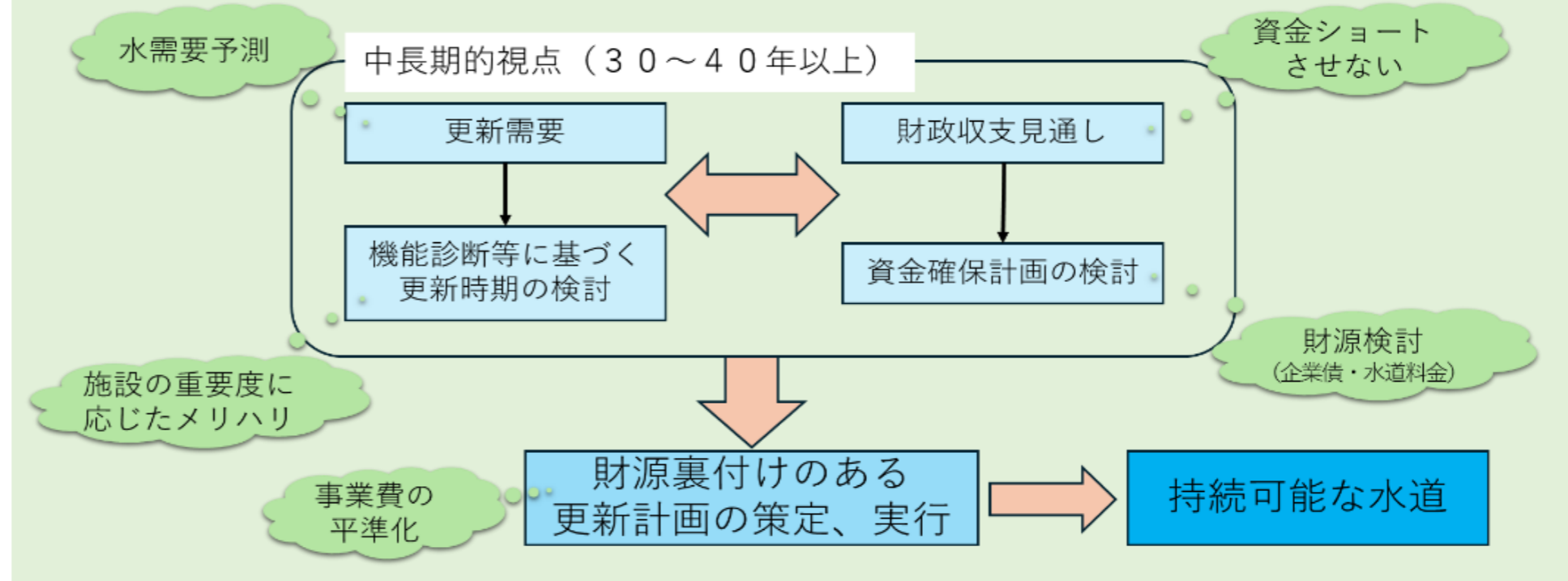
- 旧簡易水道事業、旧飲料水供給施設の統合による会計事務処理の負担軽減を図るため、事務の外部委託や広域化等の推進について検討します。
- より多くの業務に対して民間の資源やノウハウの活用を図るため、福井県内の他の事業者の動向も踏まえつつ、ウォーターPPP（民間の技術やノウハウを最大限に活用し、上下水道施設を効率的に維持管理・運営していくための官民連携手法）の導入の可能性について検討します。

### (2) 計画的な事業経営の推進

#### ① アセットマネジメントの実施

- 旧簡易水道事業等の統合を受けて、アセットマネジメント（資産管理）を実施し、水道施設の将来的な更新費用や必要となる財源等の財政収支の見通しを精査し、計画的な施設更新の基盤とします。
- アセットマネジメントは、物価上昇や人口減少等の社会情勢の変化や施設の更新状況等を踏まえて、定期的な見直しを図ります。

- アセットマネジメント：水道施設の資産（管理所、井戸、配水池、管路等）を中長期的なライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に管理運営、更新するための計画。



## 8.目標3【持続】「水道サービスの持続」の具体的施策の一例

### ② 料金体系の見直し検討

- 令和8年4月より、旧簡易水道区域も上水道区域の料金体系への統一を行い、料金収入の確保を図ります。
- 今後は、アセットマネジメントの結果を踏まえて、人口減少による料金収入の減少や施設更新費の増大等を考慮した適正な料金体系の見直しを行います。
- 上記の結果を受けて、「美浜町水道事業経営戦略」の改定や定期的な見直しを行い、それらに基づいた持続的な事業経営を推進します。

### (3) お客様サービスの向上

- お客様サービスの向上を目指して、ホームページや防災アプリ、公式ライン等のあらゆる媒体を用いて、安全に関する情報、災害時に役立つ情報、利便性を高める親しみやすい情報等を提供し、充実を図ります。
- 漏水の早期発見や濁水発生を予防するための洗管作業、水温の適時監視を実施する等、お客様サービスのさらなる向上を図ります。

成果指標項目	現況値 (R 6)	目標値 (R 17)
漏水調査の実施(再掲)	1回	3回
有収率(再掲)	68.23%	80.00%

### (4) 環境負荷低減の推進

#### ① 省エネルギー対策の推進

- これまでも水道管理所更新時および落合川浄水場更新時には、高効率機器の採用をするなど省エネルギー対策を実施してきました。
- 引き続き、施設更新・新設時に省エネルギー対策につながる機器選定、システム導入を行います。



水道管理所送水ポンプ  
(H21 設置)



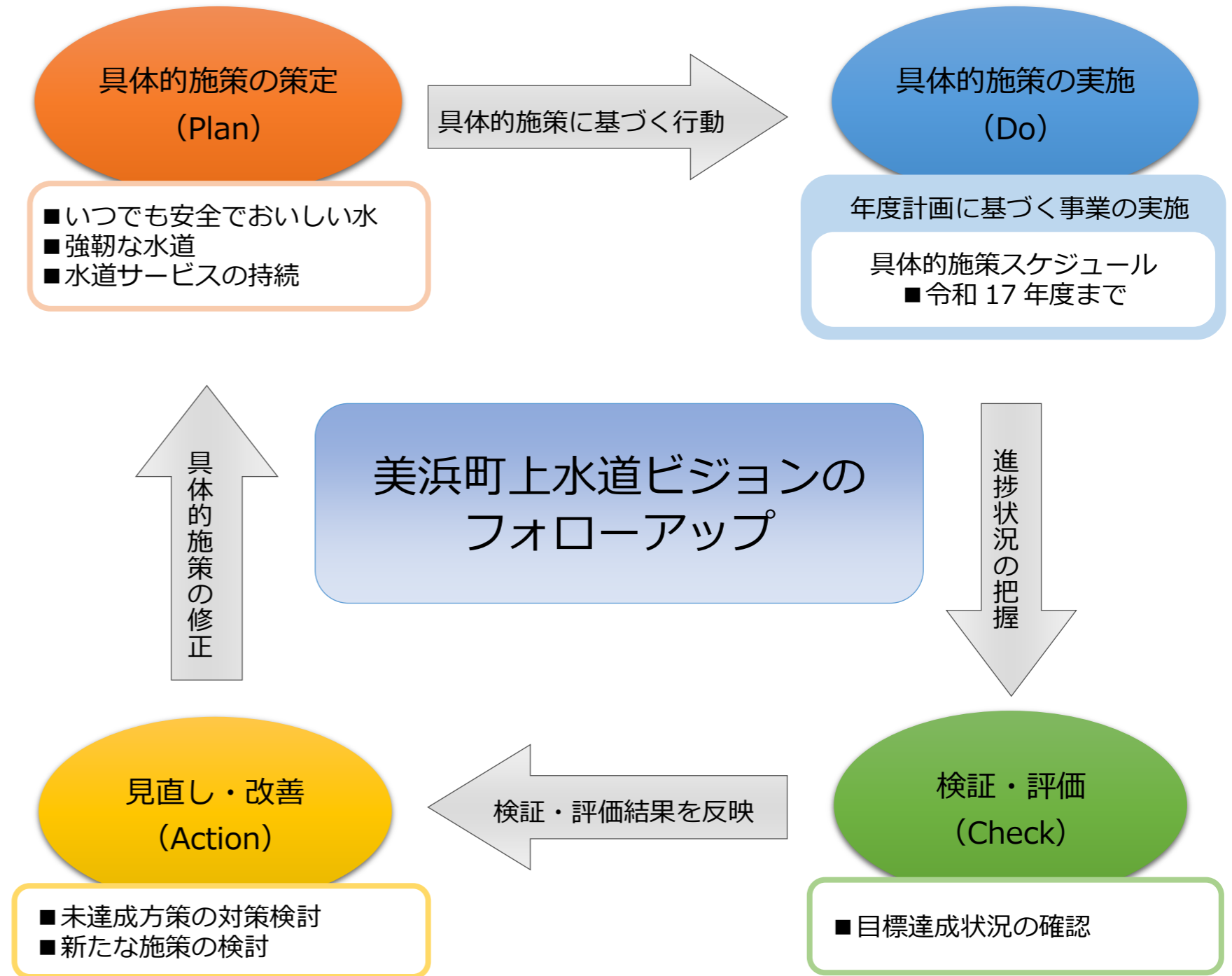
落合川浄水場送水ポンプ  
(H26 設置)

## 9. 具体的施策スケジュール

具体的施策項目	スケジュール									
	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
<b>目標 1 : いつでも安全でおいしい水</b>										
● 水源保全の啓発										
● 安全・安定供給の推進										
● 水道水源（地下水）の長寿命化実施										
● 水質管理の徹底										
● 配水圧の適正化										
<b>目標 2 : 強靱な水道</b>										
● 老朽施設対策の推進										
取水施設の見直し、整備										
管路の更新整備（導水・送水・配水）										
落合川浄水場の修繕・長寿命化										
送水ポンプの修繕・長寿命化										
配水池の修繕、耐震化										
操作盤等の施設の更新										
漏水調査の実施										
● 防災力の向上										
さらなる災害対応体制の強化										
発災時に備え、広域的な連携体制の構築										
● 個別対策とバックアップ機能強化										
水道施設の老朽化に伴う適正更新										
基幹管路の強靱化、複線化、ループ化										
バックアップ施設の維持										
<b>目標 3 : 水道サービスの持続</b>										
● 経営基盤の強化										
職員の負担軽減策の検討										
外部委託や広域化の検討										
● 計画的な事業経営の推進										
アセットマネジメントの実施										
料金体系の見直し検討										
● お客様サービスの向上										
● 環境負荷低減の推進										
省エネルギー対策の推進										
リサイクルの推進										

## 10. フォローアップ

- 本ビジョンで定めた具体的施策（Plan）の進捗管理（Do）により、目標の達成状況を評価（Check）し、改善の検討（Action）につなげます。このような、PDCA サイクルによる循環システムを構築し、継続的な水道事業運営の向上を目指します。
- 本ビジョンは、今後の 10 年間の施策を示したものでありますが、社会・経済情勢の変化を踏まえ、適宜、達成状況の確認を行います。



## 美浜町上水道ビジョン概要版

発行年月／令和8年3月

発行／美浜町上下水道課

〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市 25-25

TEL 0770-32-1341 FAX 0770-32-3341

ホームページ：<http://www.town.mihama.fukui.jp/>